

平成 22 年 9 月 8 日

NTT東日本グループにおける、環境負荷低減に向けた マイカップ対応自動販売機等の設置等について

- NTT 東日本グループは、環境負荷低減に向けた取り組み「NTT 東日本グループアクトグリーン 21」の一環として、事業所内に設置している飲料自動販売機について、省電力型で、かつ機種に合わせてマイカップ対応、または災害対応型の機能を持つ自動販売機への更改を進めるとともに、社員のマイカップ利用を促進します。
- 平成 22 年度中に NTT 東日本ならびに都道県域各社に設置している飲料自動販売機 980 台全ての更改を完了し、今後 NTT 東日本グループ各社についても更改に向けた検討を進めていきます。

1. 背景

NTT東日本グループでは、2009年6月より、社員等の環境意識の醸成および自主的・主体的な環境に配慮した活動の実践に向けて、「NTT東日本グループアクトグリーン 21」と称し、グループ各社の社員等に対して、職場や家庭、地域社会など、様々な場面で環境負荷低減につながる様々な取り組みを推進しています。

取り組みの一環として、これまで、東日本エリアの社員食堂 128 施設において「割り箸」の撤廃(年間 7,062 kg相当)を実施するとともに、東日本エリアの売店 31 施設における「レジ袋」の撤廃(年間 1,213 kg相当)を推進してまいりました。

今回、NTT東日本グループでは、これらの取り組みに引き続き、NTT 東日本グループ内外において環境対策を推進しているテルウェル東日本株式会社と協働し、事業所内に設置している飲料自動販売機について、省電力・マイカップ・災害対応型へ順次更改をすすめていくこととし、あわせて、社員の環境意識向上の観点から、社員へのマイカップ利用を促進していきます。

2. 自動販売機の更改について

NTT 東日本ならびに都道県域会社各社に設置している飲料自動販売機について省電力型とし、紙コップ式販売機についてはマイカップ対応型、缶・ペットボトル販売機については、利用者数に応じて停電時でも使用できる災害対応型^{※1}に更改していきます。

2010 年度から順次実施しており、当年度は約 980 台を予定しています。これらすべての更改が完了した際は、消費電力は年間約 1,066,000kWhの削減効果を想定しています。

その他の NTT 東日本グループ会社における飲料自動販売機についても、引き続き、更改に向けた検討を進めていきます。

※1 災害により停電となった時、また、災害により建物内に閉じ込められた時のために、飲料水を確保することを目的に設置。担当者が操作(暗証番号等により開放)することにより、無料で飲料水を取り出すことができる。

3. 社員へのマイカップ利用の促進に向けた取り組みについて

本取り組みの実施にあわせ、社員の環境意識向上の観点から、以下の取り組み等により社員へのマイカップ利用を励行します。

- ①当該自動販売機におけるマイカップ利用を促進するステッカーの貼り付け
- ②「NTT東日本グループ環境デー」(原則、毎月5日)を契機とした周知・啓発活動の展開
- ③社内テレビニュース・社内ホームページによる周知
- ④売店施設への当該自動販売機に対応したマイカップの販売コーナーの設置

4. その他

本取り組みの実施にあわせて、NTT東日本グループは、環境省が主催する「マイボトル・マイカップキャンペーン」※2に参加します。

※2 環境省主催のキャンペーン。マイボトル・マイカップが使いやすい社会づくりについての取組を応援しつつ、これらの取組についての情報などを提供し、個人にもマイボトル・マイカップの利用を進めてもらうことを目的としている。

キャンペーンホームページ <http://www.re-style.jp/bknbr/mybottle/01.html>

<別紙>マイカップ対応型自動販売機外観

(別紙)

<マイカップ対応型自動販売機外観>



<マイカップ利用時>

